

令和元年度文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」報告書

学校等名 雲仙市立吾妻中学校

担当者名 三浦 治子

電話 0957-38-3127

F A X 0957-38-3163

実施日 令和 元年 10 月 30 日(水) 13:20 ~ 16:20

場 所 雲仙市立吾妻中学校 体育館

講座名 がん教育講演会

講 師 岡田 雅彦 先生 (みさかえの園 あゆみの家 副施設長) 小児科医師

近隣校への案内

案内先: 雲仙市立大塚小・鶴田小・川床小・瑞穂中・西郷小・大正小・岩戸小・国見中
神代小・土黒小・多比良小・八斗木小・島原市立第五小学校

計 13 校

参加者

児童・生徒
1・2学年
(115)人

学校職員
(11)人

保護者
(1)人

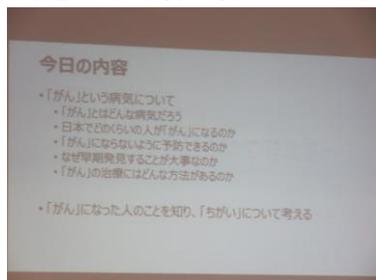
他校職員等
(7)人

その他
(市保健師・助産師・人権擁護委員)
(137)人

テーマと内容

「いのちの授業」～ちがいについて考える～
・がんについての基礎的な知識と理解 ・がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深める
・互いの違いを認め尊重し合うことについて考え、命の大切さについて考える

<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



<講師からの指導や助言・成果>

- ・「がん」についての正しい知識(原因・予防・早期発見)をもち、自分の健康について考え、実践できるようになること。しかし、原因がわからなく・予防できない「小児がん」の患者がいること。必死に病と闘っている人にとって、暮らしやすい社会とはどのような社会だろうか。
- ・「がん」になった人のことを知り、「ちがい」について考える。
- ・中学生の時期は、いろいろな人の思いや考えが入りやすい時期なので、読書をして欲しい。
- ・事前学習で「愛してるよ、カズ」のDVD視聴をしていたので、子どもたちが真剣に話を聞いてくれて、とても話しやすかった。

<今後の取組及び課題>

- ・保健体育科の授業を中心に掲示教育を行う。
- ・雲仙市では助産師・保健師による思春期教室を市内全中学校で行っているため、その中で「婦人科のがん」についても触れてもらっている。
- ・既存の教育課程の中に新しい内容がどんどん入ってきている現状で、時数確保にとっても苦慮している。